

ビジュアル系  
子ども・家族の  
理解と支援

岡田隆介

五 超具体的な  
コミュニケーション支援  
(思春期編 その1)



「思春期三点セット」



① 二次性徴

② 秘密の保持

③ 孤独への耐性

思春期は、大人への階段をかけあがっているさなかです。きつかけは身体の変化で、そこから心にも「性」と切り離せない変化が始まります。

そもそも思春期って、  
どういうもの  
なんですか？



げっ、理屈  
っぽい・・・

二次性徴をもって思春期は始まると言ってもいいだろう。身体の変化は、生まれてはじめてあけっぴろげにしゃべれない「秘密」となる。この秘密を自分の胸に納めておくには、ある程度「孤独」に耐えるだけの育ちが必要だ。

その意味で、秘密や孤独を共有できる親友がいるといたないとで、思春期の色合いはずいぶん違ってくる



社会参加の準備

“思春期の課題”



自分の  
イケテルところ  
の発見



手持ちの札  
で勝負する  
決断



心のバランス



スキになれなかった自分の中のイケてる部分を知ったのも、さんざん探した“青い鳥”に見切りをつけたのも、秘密や孤独を共有する友人とのやりとりがきっかけだったりします。

生まれて、初めて家族以外の人と相互に影響しあう時期といえるでしょう。

ママ友。パパ友の子育て談義のマンガは、団士郎氏の許諾を得て、木陰の物語と家族の練習問題から転載しています。

ええで





つい口癖で、「どうして～できないの、いつもあなたは～」と言ってしまふ



その「否定形疑問と一般化」の組み合わせって、大人のサガみたいなものよね。私は、思わず口から出たら「また言っちゃった、進歩のない自分が情けないわ」とボケて中和するの。そもそも、わざと怒らせようとする行為なんかは見てやらない。怒りのキャッチボールを避けるのがなにより大事、そう思ってるから

親だからこそ、わが子のために  
思って言ってるのに「そんなこ  
と頼んでない！」だって。情け  
ないやら腹が立つやら、ほんと、  
思春期は扱いにくいわ



彼らは、そういう上から目  
線に敏感なのよ。「こっち  
の事情で悪いけど、ちょっ  
と頼んでいいかな」の協力  
依頼が効果的よ。それから  
叱るタイミングだけど、  
“鉄は少し冷めて打つ”くら  
いがちょうどいいと思う

せっかく「それ似合ってるな、かわいいやん」てほめてるのに、「ハア？ウザいんだけどお」って、ほんまムカツくわ



なんぼなんでも直接的過ぎやわ。ハラスメント臭、ぷんぷんやし。「似合ってるなあ、どこで買ったん？」とゆうてみ。間接的に、お店やその店を選んだセンスを褒めんねん。「参考にするから教えてえな」と続けたら、カンペキやわ



対外試合や試験で、「どうだ、結果は？」って尋ねると、「えっ？フツー」「そこそこ、みたいなの」「ていうか、ビミョー」などと、わけのわからん返事をする。なんとかならんのかねえ



デジタル世代には数値化ですよ。「前回は5としたら、今回はどのくらい？」と。減っていたら「よくそれくらいで食い止めたね」、同じだったら「この時期に現状維持ってスゴくない？」、上乘せがあったら「何がよかったの？教えて」と返してみたらいいですよ